

**U-12サッカーリーグIN 北海道十勝地区リーグ2018 兼  
第42回 JFA全日本U-12サッカー選手権大会十勝地区予選 兼  
第23回 勝毎杯とかちU-12サッカーリーグ**

**開 催 要 項**

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。
2. 主 催 (公財)日本サッカー協会・(公財)北海道サッカー協会・(一社)十勝地区サッカー協会  
十勝毎日新聞社
3. 主 管 (一社)十勝地区地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟
4. 後 援 十勝教育局・帯広市教育委員会・大樹町町教育委員会・中札内村教育委員会
5. 期 日 平成30年5月6日(日)・12日(土)・13日(日)・26(土)・27日(日)・6月30日(土)・7月21日  
8月5日(日)・8月11日(土祝)・9月1日(土)・9月2日(日)  
  
リーグ戦予備日(日程追加、荒天等による)  
平成30年7月22日(日)・8月12日(日)・9月9日(日)
6. 会 場 5月6日(日)帯広札内川A、B・5月12日(土) 帯広札内川B、大樹運動公園  
5月26日(土)帯広札内川B、中札内河川敷・5月27日(土) 帯広札内川B(1試合)  
7月7日(土)帯広札内B、大樹・7月21日(土)帯広の森球技場・  
8月5日(土)十勝川河川敷・8月11日(土祝)十勝川河川敷  
9月1日(土)十勝川河川敷・9月2日(日)十勝川河川敷  
※ 会場変更の可能性あり
7. 参 加 資 格 ① 「参加チーム」は、大会実施年度に(公財)北海道サッカー協会第4種に加盟登録した選手であること。  
② 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じ継続して活動していること。  
③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。  
④ 地区大会前期終了後、後期開始前までの期間に限り、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍もしくは複数チーム間での移動を認めるが、その後、決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。  
⑤ 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内の他のチームから選手を参加させることも可能とする。但し、前項③は適用される。  
⑥ 「参加チーム」及び「参加選手」は当該チームの地区予選の登録選手が16人に満たない場合は、地区予選終了後「加盟チーム」内の選手の中から補充ができる。  
⑦ 指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入り1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。  
⑧ 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。  
⑨ 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険等)に加入していること。  
⑩ 「参加チーム」及び「参加選手」は日本スポーツ少年団に登録したチーム及び選手であること。(登録日が本大会締切日以降である場合は登録を前提とする)  
⑪ 「参加チーム」はリーグ戦開催日に行われる指導者研修会に必ず参加しなければならない。
8. 参 加 チーム 及び その 数 「参加チーム」の構成は、選手20名以内、引率指導者6名以内とするが、6学年の人数がそれを超えるチームはその人数まで登録を認める。(ベンチ入り人数は別途規定あり。13①~③参照)  
複数チームの参加を認めるが、6学年の人数が14名以上であることを要する。但し、参加チーム数により日程消化が困難であると判断した場合は、複数チームの参加を認めない場合があるが、可能な場合は6学年の人数が多いチームより優先す

## 9. 大会形式

- ① 前後期制とする。
- ② 前期は9チーム1ブロックで4ブロックのリーグ戦を行い、後期は、前期の成績を基に順位別に同様のリーグ戦を行う。前期各ブロック成績上位の2チームと3位の内成績上位の1チームが進むブロックを決勝ラウンドとし、その内成績上位の3チームが十勝地区代表として道東ブロック大会に進む。
- ③ 後期順位別リーグに進んだチームは一試合ごとに登録参加している全選手を試合に出さなければならない。
- ④ 順位は勝点（勝－3点、引分－1点、負－0点）、得失点差、総得点、対戦相手の順で決定する。ただし、前期及び決勝ラウンドの代表に関わる順位において同率の場合はリーグ戦終了後いわゆるPK方式で順位を決定する。  
※ 参加チーム数により変更あり。

## 10 競技規則

（公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

## 11 競技のフィールド

- ① フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）50mとする。
- ② その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
- ③ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする  
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
- ④ 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーン設ける（ハーフウェーを挟んで3mずつ）
- ⑤ テクニカルエリアは設置しない。ベンチ位置がテクニカルエリアとなる  
テクニカルエリアから前に出て指示することはできない。その都度ただ一人の引率指導者のみが指示を与えることができる。

## 12 試合球

モルテン社製「ヴァンタッジオ5000キッズ」を使用する。

## 13 競技者の数および交代

- ① 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者の内1人はゴールキーパーとする。本大会において8人に満たない場合は試合を行わず、0対3で敗戦しものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合にはそのまま続行する。
- ② ベンチ入りできる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。  
6学年だけでベンチ入り人数が16名を超えるチームは超過した人数までベンチ入り認める。超過するベンチ入りメンバーに5学年以下の混成は認めない  
登録人数が16名を超える場合、毎試合ごとに提出した申込書の写しにベンチいりメンバー16名を○印で記載し大会本部に報告すること。（6学年だけで構成するチーム除く）2次リーグが順位別リーグとなった場合はこの限りではない。
- ③ 役員の数  
ベンチ入りできる役員の数：2人（原則）以上3人以下とする。原則、内1名は（公財）日本サッカー協会公認資格（D級以上）を有すること。
- ④ 交代の手続き  
(1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。  
(2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。  
(3) 交代は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。  
(4) 交代について、主審・補助審判の承認を得る必要はない。  
(5) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わること  
できる。  
(6) 負傷者の対応  
主審が認めた場合にのみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

## 14 競技者の用具

- ① 大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」による。
- ② 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ③ ユニフォームの広告表示については、（公財）日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
- ④ ユニフォームは（シャツ・ショーツ・ストッキング）は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込み書に記載し各試合に必ず携行すること。

- ⑤ 審判（黒色）と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を遵守すること。
- ⑥ ユニフォームの色・背番号の参加申込以降の変更は認めない。
- ⑦ シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑧ 同じチーム内でフィールドプレーヤーとゴールキーパーが同系色のシューズ・ストッキングを着用することは原則として認めない。
- ⑨ ゴールキーパーの負傷退場により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

15 審 判 員 主審1名、副審2名、補助審判1名の計4名で割り当てどおり審判運営を行う。

16 試 合 時 間 試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は7分とする。暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用することがある。**※ 参加チーム数により変更あり**

- 17 懲 罰
- ① 本大会の予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場、退席による未消化の出場停止処分は本大会までにおいて順次消化する。
  - ② 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、本大会規律委員会を設ける。
  - ③ 大会規律委員会の委員長は（一社）十勝地区サッカー協会4種委員長が務める。
  - ④ 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は本大会の次の1試合に出場できない。
  - ⑤ 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置においては本大会規律フェアプレー委員会で決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている場合は、試合を停止する。
  - ⑥ 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては大会規律委員会にて決定する。

18 参加申込み 「参加チーム」は以下の手続きを期日までに完了すること。

- ① 参加申込書・チーム紹介・集合写真の一括提出  
参加申込書・チーム紹介は所定のファイル、写真はJPEGデータで下記申込み先にEメールで提出すること。
- ② 大会参加料（22,000円）（内連盟負担金500円を含む）の納入 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。
- ③ 複数参加希望のチームは、申込み締め切り後、参加チーム数により参加可能かどうかを判断するため申込書に2チーム目の記載をし、認められた場合に2チーム目の参加料を納入すること。
- ④ 選手変更・追加登録は、監督会議まで所定のファイルにより再提出すること。
- ⑤ **参加申込み締切 平成29年4月13日（金）17時必着とする。**

【申込み先・申込みの問合せ】

宇野和哉 （一社）十勝地区サッカー協会4種事務局長

Eメールアドレス monpy@sea.plala.or.jp 携帯090-2814-2267

【競技事項の問い合わせ】

草野康一 （一社）十勝地区サッカー協会4種委員長

携帯090-1648-5844

大会参加料等振込口座（振込用紙に必ず大会名、チーム名を記載すること）

銀行名：ゆうちょ銀行

口座番号：02730-8-39544（郵便振替口座）

口座名：十勝少年サッカー連盟

19 組 合 せ 監督会議において抽選し確定する。

- 20 帯 同 審 判
- ① 出場チームは（公財）日本サッカー協会審判員（3級以上）を1名以上帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
  - ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとし、主審は（3級以上）の者が行い副審、補助審は（4級以上）のものが行う。
  - ③ （3級以上）を帯同できない場合は、申込み締切日までに下記あてまで連絡し、不帯同料として一試合毎3,000円を大会当日の朝、本部に納入すること。

- ④ 長期リーグのため（3級以上）を帯同出来ない日がある場合は、早急に下記問い合わせ先に連絡すること。
- ⑤ （3級以上）帯同制は前期リーグと後期決勝ラウンドに進んだチームに限る。

【審判に関する問い合わせ】

杉野全由 （一社）十勝地区サッカー協会 4種審判委員長  
携帯090-3112-

- 2 1 監 督 会 議 平成30年4月27日（金） 19時 十勝プラザ401講習室  
監督又はそれに準ずる者が出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
- 2 2 開 会 式 行わない。
- 2 3 閉 会 式 平成30年9月1日（土）時間未定、会場 十勝川河川敷 代表チームの出席とする。  
※ 参加チーム数により日程変更の場合あり。
- 2 4 そ の 他
  - ① 各チームの登録選手は、原則として公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証（写真を貼付したもの）を持参すること。ただし、電子登録証（写真が登録されたもの）が確認できる場合は出場を認める。選手証は大会初日と新規登録があった場合にその都度確認する。
  - ② 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。その後の措置は（一社）十勝地区サッカー協会の管轄とする。
  - ③ 大会参加にあつたては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に年度初めに説明した「大会参加にあつたての注意事項」を遵守しなければならない。
  - ④ 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は主管地区協会4種委員会（4種委員長、副委員長、事務局長、審判委員長などで構成）において協議のうえ対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
  - ⑤ 観客席は選手席のコートを挟んだ向かい側に限定する。
  - ⑥ 父母席（観客席）からのサイドコーチングを禁止する。
  - ⑦ と。
  - ⑧ 対応できない場合は0-3の不戦敗とする。
  - ⑨ 道東ブロック大会 2018年9月24日（土）釧路地区  
全道大会 2018年10月6日（土）～8日（月祝）苫小牧地区

以上